

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	05	目	05
事務事業名	仙北ふれあい文化センター管理事業								
担当部署	生涯学習部生涯学習課仙北公民館	2801388	電話	0187-69-3333			内線		

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	03:芸術、文化の振興
	施策	01:芸術、文化活動の振興
	施策の内容	02:文化活動参加機会の提供
根拠法令等	大仙市市民会館等に関する条例、大仙市市民会館等に関する規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	市民の芸術文化の発展及び福祉の向上を図るため
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①施設の維持管理 ②施設の利用の許可、不許可 ③使用料の徴収
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	①会館利用機会の拡大、利用率の向上 ②芸術・文化活動の参加機会の拡大

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 使用可能日数	日	344	343	347
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 利用件数	件	3,272	2,796	2,792
	② 利用人数	人	82,845	67,364	62,937
	③ 施設使用料	千円	3,277	2,133	2,134
投入コスト	決算額		22,280千円	18,919千円	19,908千円
		一般財源	22,280千円	18,919千円	19,908千円
	人件費		8,936千円	15,894千円	15,664千円
		一般職員の年間従事人数	1.0人	2.0人	2.0人
		一般職員以外の年間従事人数	1.0人	1.0人	1.0人
	総コスト (決算額+人件費)		31,216千円	34,813千円	35,572千円

事業を取り巻く環境	①平成6年に開館。 ②合併後は施設の立地やキャパシティ、駐車場の利便性からホールの稼働率は80%代という非常に高い水準を維持している。 ③施設の老朽化に伴い施設の維持・管理費が増加傾向にある。 ④利用者の大半が減免規定に該当する団体。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	市民の芸術文化の発展に寄与する市民会館としての機能の他に公民館としての機能、地域の避難場所としての機能を持ち合わせた施設のため、市が主体となって施設の維持管理及び運営を行う必要がある。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	仙北地域の芸文協団体や市民のみならず、他の地域の市民からも施設を利用して頂いており、高い水準の利用率を維持している。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	①最小限の人員で運営しており、職員数の削減は困難である。 ②民間委託業務の見直しをし、経費削減に努めているが、それも限界に近い状態である。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
現状	C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	現在のニーズに応えられるよう、最大限の配慮をしながら現状維持していくことが求められている。